慣用句(上級)プリント1（ルビつき） No.2（ルビつき）

答えの 選択肢の ○を 1つだけ ぬる。
まちがえたら けしゴムで けす。

なまえ

出席番号　　必要な人は書く

問1 会議中に隣の同僚が（　）を引いて、私に合図した。（　）に入る言葉はどれですか？

○ 襟　○ 帯　○ 袖　○ 裾

問2 「腕に覚えがある」の意味はどれですか？

○ 体の一部に傷跡が残っている
○ 過去の経験をよく記憶している
○ 手先が器用で何でも作れる
○ 自分の技術や能力に自信がある

問3 彼女は（　）が軽く、誘えばすぐに遊びに来る。（　）に入る言葉はどれですか？

○ 膝　○ 肩　○ 尻　○ 手

問4 「歯が浮く」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

○ ドラマのキザなセリフを聞いて、思わず歯が浮く思いがした。
○ 宝くじが当たって、嬉しさのあまり歯が浮いてしまった。
○ 彼は歯が浮くような硬いパンを食べて、歯を痛めた。
○ 歯が浮くほど一生懸命に勉強して、試験に合格した。

問5 「腰砕け」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

○ 腰砕けの椅子に座ると、姿勢が悪くなるので注意が必要だ。
○ 意気揚々と議論を始めたが、反論されて腰砕けになった。
○ 転んで腰砕けになり、病院へ運ばれた。
○ 重い荷物を持って歩いていたら、腰砕けになってしまった。

問6 才能ある若者の（　）を摘むような発言は慎むべきだ。（　）に入る言葉はどれですか？

○ 葉　○ 花　○ 根　○ 芽

問7 「見得を切る」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

○ 見た目を良く見せようと、無理をして高級な服を買って見得を切った。
○ 相手の親切な気持ちを断ってしまい、見得を切った。
○ テストで悪い点を取ってしまい、お母さんの前で見得を切った。
○ 役者が舞台中央で力強く見得を切る姿に圧倒された。

問8 「肝が据わる」の意味はどれですか？

○ 物事の核心を理解して、落ち着きを取り戻す
○ 怒りが頂点に達して、冷静さを失う
○ 物事に動じず、度胸がすわっている
○ 非常に驚いて、心臓が止まりそうになる

問9 「面目を失う」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

○ 部下の不祥事により、責任者である彼は面目を失った。
○ 面目を失うほど、彼は鏡を見て自分の顔を確認した。
○ 彼は長年の努力が報われ、ようやく面目を失った。
○ 新しい企画が成功し、彼はすっかり面目を失った。

問10 「猿芝居」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

○ 舞台の上で猿芝居を披露し、拍手喝采を浴びた。
○ 彼らの見え透いた猿芝居には、誰も騙されなかった。
○ プロの役者による猿芝居は、非常に見応えがあった。
○ 動物園で猿芝居を演じて、観客を大いに喜ばせた。

QRを 読んで 答え合わせ
答案を 撮って 自動採点
点数は マイページに ためよう